

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1387号 1997年09月29日(月)

〈 FOMC ON TUESDAY 〉

今週は先週と変わって予定が多い週です。それもありますし、先週は週中祝日が一日ありましたが今週はないということで、長く感じる一週間になるかもしれない。

30日(火曜日)	通商産業省発表の日本の8月の鉱工業生産 建設省発表の8月の新設住宅着工 米連邦公開市場委員会(FOMC)
1日(水曜日)	日銀企業短期経済観測調査(短観) 9月の全米購買部協会(NAPM)景況指数
2日(木曜日)	総務庁9月の日本の家計調査
3日(金曜日)	日本の8月の完全失業率(総務庁) 同有効求人倍率(労働省) 9月の米雇用統計

火曜日に開かれるFOMCは、「据え置き」を決めるものと考えます。

1. 金融政策の delayed effect を勘案しても、アメリカのインフレ率が今後大幅に上昇する気配は見えないこと
2. 足下のインフレ率は極めて安定しており、経済的にも政治的にも今現在の利上げを正当化する根拠が乏しいこと
3. 世界的に見ればアジアの金融市場の不安定化など、ドル高につながる金利引き上げをするデメリットが大きいこと

などが理由でしょう。むろん、FEDの中にも労働情勢の逼迫を理由にむしろ引き締め気味の経済政策を志向すべきだとする勢力はあるでしょうし、今現在の利上げがアメリカ経済にとって望ましいという議論は展開できるでしょうが、FED全体として「利上げ」を決めるだけの環境にはないと考えます。グリーンスパンは依然として経済状況の変化を「注視しながら監視」という姿勢だと思われます。

短観については、今朝の日経金融新聞に「民間予想」が出ています。が、ここに書いてある通り、跛行色が強まる上にDIは前回予測よりかなり悪化すると思われます。既に債券市場はそれを織り込んでいる。今朝は長期債(指標銘柄)の利回りは1.89%と1.

90%をも割った。短観調査での質問への回答はかなりその時の回答担当者を取り巻くムードに支配される傾向もありますから、予想よりさらにダウンサイドに振れている可能性もあります。予想より強めの数字が出て現実の景況が悪い以上、市場の反応（債券売り）は一時的にとどまる可能性が高い。

《 FOMC ON TUESDAY 》

先週末の外国為替市場の話題は、EURO への参加を巡る思惑から急落したポンドと、利上げ予想のあるドイツ・マルクでした。ポンドの EURO 参加は労働党政府自体は否定して（こういう問題についての嘘は許されます）いますが、市場では労働党政権が保守党政権よりはるかに EURO への高い評価と、参加意欲を示していることから取り沙汰されているもの。ポンドが EURO に入るに当たってはイギリスは「利下げ」を余儀なくされるとの見方が強く、この結果ポンドの為替相場は急落し、ロンドン市場の株式は急騰した。

ドイツに関しては、早ければ火曜日にも「利上げがある」との見方もある。1996年8月23日以来3.00%に据え置かれているレポ・レートを引き上げるのでは、という観測。ただし筆者は、対外関係（特にフランスとの）を考えると、ドイツが利上げをするのはまだ先だと考えています。今の市場は若干ドイツの利上げを織り込んでいますから、利上げがなければ、ドルは対マルクで上昇する可能性がある。実際に利上げをしたら、ドルはかなり下がると思われます。

金曜日の米雇用統計に関しては、非農業部門就業者数は40万人ほどの増加になるとの見方も出ている。これは United Parcel Service of America Inc.のストが終わり、その分の数字が上がってくるため。失業率は4.9%で変わらずとの見方が強い。

あと今朝のウォール・ストリート・ジャーナルは、今週のドル・円相場の wild card として、クリントン政権が議会に提出する formal trade review で日本の対米自動車輸出に関連して制裁の可能性を示唆するかをどうかを挙げている。全米自動車製造業者協会（The American Automobile Manufacturers Association）は、米政府に対しこの報告書の中で日本を名指しするよう求めている。同協会は、日本のメーカーが円安と閉鎖的な日本市場で不当に有利になっていると非難している。

《 have a nice week 》

かなり気持ちよい涼しさになってきましたね。そう言えば、今週の水曜日からはもう衣替えの10月ですから。しかし、季節の変わり目のせいか、風邪引きが多い。体調にはお気をつけて。夜寝るときはちょっと暖かめにしないと、夜中に冷える。

日曜日は良い天気でしたがいかがお過ごしでしたか。私は親戚の大叔母（おじいさんの妹）が88才の米寿の祝いを東中野の日本閣でやり、私が幹事役だったので一日それにか

かりきりでした。親戚や付き合いのあった方全部で50人強を集めての会合で、まあ結婚式がいくつも行われている中での、異色の会合でした。当然年寄りから曾孫に当たるような子供まで。親戚でも長く会ってない人がいるものですね。

日本閣に行くのはこれで二回目ですが、庭が結構綺麗な宴会場です。目白のあの田中御殿の近くの宴会場ほどではないですが。最初に名前の売れたお医者さんから長生きのこつに関する30分くらいの講演をしてもらったのですが、その中では「一笑一若」という言葉が気に入りました。「一回笑うと一才若返る」という中国の言葉らしい。なるほど。きんさん、ぎんさんもよく笑いますね。笑いは重要だということでしょう。

それから「コンタクト」を見ましたが、出来の悪い最近のアメリカ映画よりはちょっと良くなったなという感じがしましたが、まだじっくり来ませんね。「Shall we dance」がアメリカで爆発的に見られている理由は十分あるような気がします。

それでは皆様には良い一週間を

<http://www2.gol.com/users/ycaster/>